

# 『まえがき』

彦根市教育委員会 教育長 前川恒廣

彦根市民文芸作品入選集の発刊も今回で五十一回目を迎えることとなりました。

このように長きにわたり続けられてこられましたのも、本市はもとより、近隣の市町から多数ご応募をいただいた皆様の熱意と意欲のたまものであると深く感謝申し上げます。

さて、今回の市民文芸作品の募集には、昨年度を上回り、延べ三百六十一人の方々から、総数九百九十八点にのぼる作品が寄せられました。近年は、文芸創作に励まれる方々の高齢化と若年層へ普及させることの難しさが言われておりますが、文芸を愛し豊かな感性をお持ちの方が数多くおられることを実感した次第であります。

入選された作品を一つひとつ拝見しますと、普段の何気ない暮らしの中で、人と自然がつながり、人と人がつながり、長い歴史とともに培われた郷土の伝統や文化に触れながら、これまでの経験で磨かれた豊かな感受性で世界を捉え、細やかな心の動きが大きな感動となって表れた作品が数多く、誠に喜ばしい限りです。

文芸とは、「ことばを通じて自分の想いを人に伝えること」です。文芸の作り手は、ことばを通じて作り手の心情を人に伝え、読み手は、ことばを通して、その人の心情を受けとめ、さらに読み手の心を広め深めることになります。

これからも、ことばを選択し自分の心を伝えるという文芸の魅力をひとりでも多くの方々に伝え、貴重な文化として世代を越えて受け継いでいきたいと考えております。

最後になりましたが、多くの優れた作品の中から入賞作品を審査いただきました選者の皆様、ならびに作品をお寄せいただきました出品者の皆様に心からお礼を申し上げ、発刊に寄せることばとさせていただきます。

平成二十七年七月